

# 公開講座 第32回心身症セミナー 報告

先に実施しました公開講座「心身症セミナー」について下記のとおり報告します。また、あわせてご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。

## 1 第32回心身症セミナーの概要

日時 令和3年11月1日(月) 午後2時10分から5時00分

場所 大阪府教育センター

対象 府内の幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、支援学校の教員及び教育関係者

内容 テーマ「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

### (1) 実践報告「不登校の背景と学校での居場所づくり」

門真市立五月田小学校 教諭 岩月 淑郎

学校の概要説明の後、対象児童の入学時から現在までの様子と、不登校に至った背景についての報告があった。そしてそれぞれの学年で、学校側がどう対応・支援をしたのかの詳しい説明があった。最後に実践の中から見えてきた課題や、学校として今後考えていかなければならない事柄についてのお話があった。その中で長いスパンで子どもを見ていく必要性や、発達障がいや福祉の知識もつ必要性を示唆された。

### (2) 「不登校を伴う子どもの心身症に対する理解と対応」

堺咲花病院 心身診療科医師 村上佳津美

最初に不登校や子どもの心身症に関する説明があり、現在不登校が増えており危機的状況の認識を持っているとの話があった。続いて不登校と関連の深い疾患として起立性調節障害、過敏性腸症候群について、症状、治療、配慮点などの詳しい解説があった。その後、コロナ禍において子どもたちが心身にいろいろな問題を抱えていることの説明があった。最後に防災マニュアルの紹介があり、学校が避難所になった場合の教員の心身の負担を軽減する方向性についての提言があった。質疑応答では、実際のケースについての具体的な質問が多く、それに対して非常に丁寧な説明があった。

## 2 アンケート結果報告 (アンケート回収38名、未回収5名、回収率88%)

### (1) 参加者について

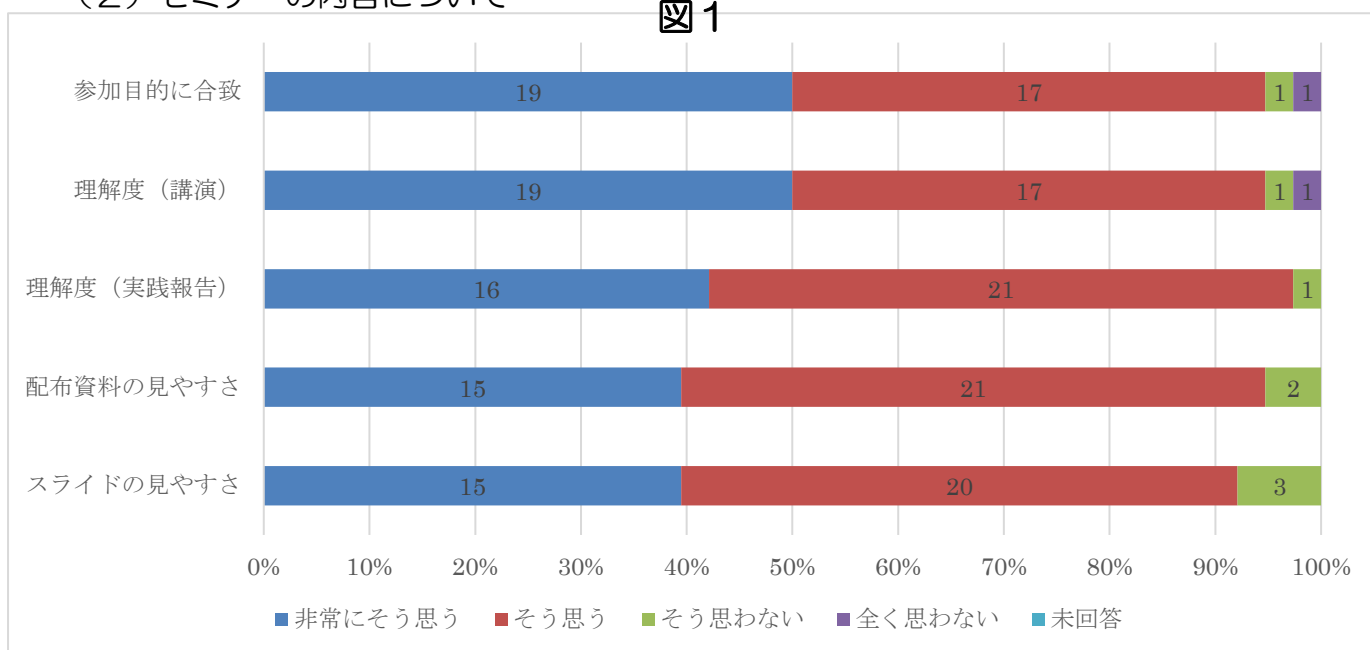
外部から43名(幼・保0%、小学校45%、中学校37%、高等学校8%、支援学校2%、その他・未回答8%)の参加があった。職種では、教諭・講師が最も多く55%、次いで養護教諭・助教諭が29%、管理職が8%、その他・未回答が8%であった。

所属 (人)	幼・保	小学校	中学校	高等学校	支援学校	その他	未回答	合計
	0	17	14	3	1	1	2	38

職種 (人)	管理職	教諭・講師	養護教諭・助教諭	その他	未回答	合計
	3	21	11	1	2	38

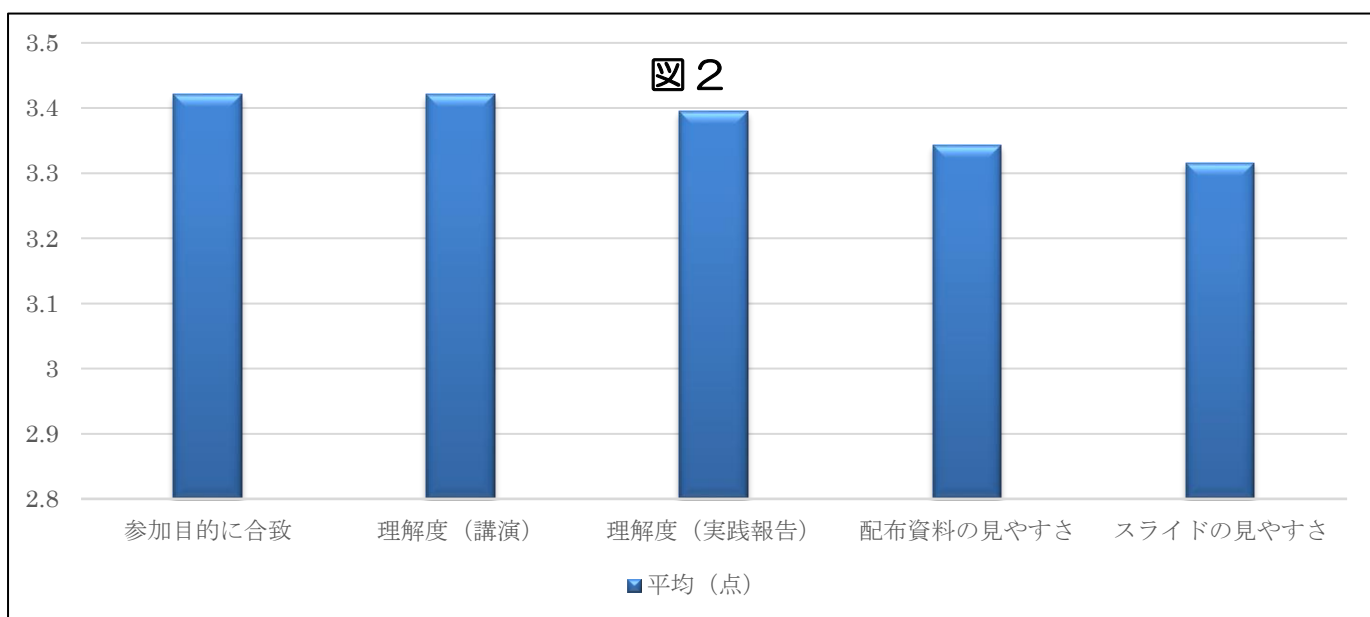
## (2) セミナーの内容について

図1

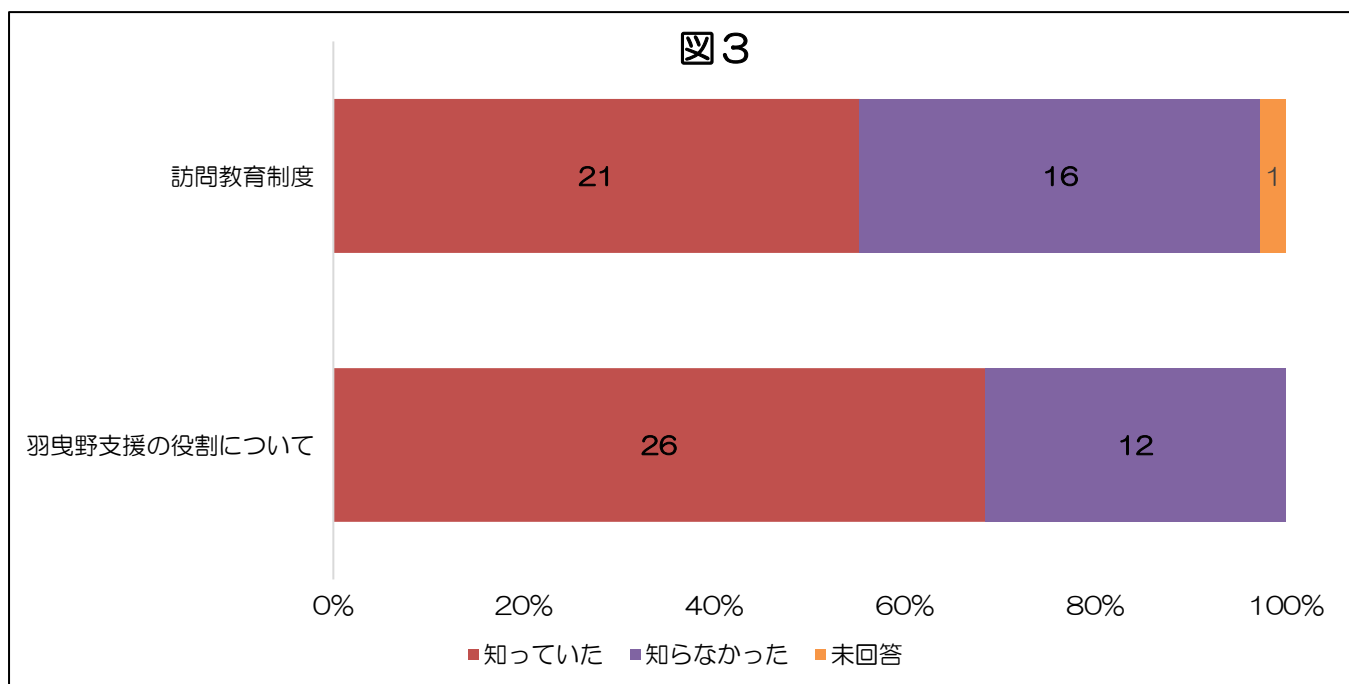


アンケートを4点法で集計。平均2.5点以上が肯定的評価である。

図2



### (3) 羽曳野支援学校の役割と訪問教育制度について



### 3 考察とまとめ

(1) 前回コロナ禍で、中止となり、一年ぶりの開催となった。例年多数の参加申し込みがある中、今回も新型コロナウイルス感染症予防のため、募集人数を100名から50名に減らして実施した。今回も、募集人数がすぐ埋まり不登校を伴う心身症の子どもたちに対する関心の高さがうかがえた。

(2) 図2では、どの項目についても3点を超えており、好評であった。

(3) 質疑応答では、具体的な事例に対する質問が多く、起立性調節障害や家庭に問題あるケースについて、丁寧な助言があった。